

平成20年度北海道観光入込客数調査の概要

平成21年7月
北海道経済部
観光局

本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、各市町村が行った観光入込客数調査や交通機関における輸送実績から推計したもので、半期毎に実施しています。

記

1 観光入込客数（実人数） 4,707万人（前年度比 94.9%）

平成20年度の観光入込客数の総数（実人数）は、4,707万人となり、前年度の4,958万人に対し、94.9%（251万人減）となりました。

花畑牧場の「生キャラメル」人気による中札内村での観光客の増加や札幌の秋のイベントとして開催された「さっぽろオータムフェスト2008」（9月19日～10月5日）に多くの人を訪れるなど明るい話題もありましたが、ガソリン価格の高騰によるドライブ観光の出控えにより道内客が減少したほか、世界的な景気後退に伴う旅行の出控えや急激な円高による訪日外国人来道者の減少、航空路線の減便・機材の縮小や北海道洞爺湖サミット開催に伴う警備に対する敬遠、さらには、2月の天候不順により航空機の欠航が増加するとともに、さっぽろ雪まつりをはじめとするこの時期のイベントへの入込が減少するなど、観光入込客数は3年ぶりに減少しました。

<観光入込客数（実人数）>

区分	観光入込客数 （実人数）	前年度比	
			増減数
道外客	628万人	96.8%	21万人
うち外国人	69万人	96.9%	2万人
道内客	4,079万人	94.7%	230万人
合計	4,707万人	94.9%	251万人

圏域別延べ人数

区分	観光入込客数 （延べ人数）	構成比	前年度比	
				増減数
道央	7,413万人	55.8%	95.8%	324万人
道北	2,254万人	17.0%	94.8%	124万人
道南	1,085万人	8.2%	92.1%	93万人
十勝	874万人	6.6%	97.2%	25万人
オホーツク	841万人	6.3%	91.0%	83万人
釧路・根室	814万人	6.1%	93.8%	54万人
合計	13,282万人	100.0%	95.0%	703万人

四捨五入のため数値が合致しない場合があります。

2 訪日外国人来道者数（実人数）68万9,150人（前年度比96.9%）

平成20年度の訪日外国人来道者数は、実人数で68万9,150人となり、前年度の71万950人に対し96.9%と減少しました。

年度前半は、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業によるPR効果や民間事業者、関係団体などと一体となった海外プロモーション活動の推進や円安基調により増加しましたが、年度後半は新たな定期路線の就航により一部の国・地域からの来道者が増加したものの、全体的には世界的な同時不況や急激な円高の影響により減少に転じ、現行の調査要領で調査を行った平成9年度以降では初めての減少となりました。

- 【台湾】これまでの長期に渡る増加トレンドが落ち着きを見せ、全体として小康状態であったところに、世界的な景気後退や円高台湾ドル安の影響が加わり、年度後半は大幅に減少しました。
- 【韓国】年度前半は前年同期比微増も、年度後半からの急激な景気後退による消費手控えに加え、通貨ウォン安も逆風となり、海外旅行全般が減少に転じたことから、通年ベースでは減少しました。
- 【香港】レンタカーを利用した旅行が好調であるなど、定期チャーター便が就航したことから夏から秋にかけての訪問者が大幅増。北海道の知名度が定着した上、景気後退などの影響による極端な落ち込みもなく、年間を通じて堅調に推移しました。
- 【中国】好調な国内経済を背景に海外旅行需要が基本的に拡大傾向にある上、平成20年3月に訪日ビザが家族観光を対象に発給できるよう緩和されたこともプラスに働き、さらに、北海道がロケ地となった中国映画の大ヒットが1～3月の追い風要因となり、大幅な増加が続いています。
- 【シンガポール】北海道の知名度が定着し、団体旅行のみならず個人旅行など旅行需要の裾野が広がってきていることから、ラベンダーなどの花の景色や英語環境の整った冬のニセコなど、多様な地域や旅行消費に需要があり、世界的な景気後退局面にもかかわらず、四季を通じて安定的に増加しました。
- 【オーストラリア】これまでのスキー中心の需要から、春・夏の入込みも徐々に拡大しつつあったが、景気後退、さらに高値で推移してきた豪ドルの下落により、年度後半、特に、人気のある冬季に落ち込んだことから通年でも減少に転じました。

< 訪日外国人来道者数（実人数） >

国・地域別	来道者数（実人数）	前年度比		構成比
			増減数	
台湾	227,600人	82.0%	49,800人	33.0%
韓国	139,100人	82.2%	30,200人	20.2%
香港	126,000人	116.7%	18,000人	18.3%
中国	47,400人	175.9%	20,450人	6.9%
シンガポール	45,300人	121.9%	8,150人	6.6%
マレーシア	10,300人	226.4%	5,750人	1.5%
タイ	3,800人	176.7%	1,650人	0.6%
上記以外のアジア地域	8,800人	120.5%	1,500人	1.3%
アメリカ	14,350人	132.3%	3,500人	2.1%
ロシア	6,900人	114.0%	850人	1.0%
オーストラリア	29,450人	88.3%	3,900人	4.3%
その他（不明を含む）	30,150人	108.1%	2,250人	4.4%
合計	689,150人	96.9%	21,800人	100.0%

（注） 実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

延べ人数：市町村の実人数の単純合計で、1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。